

4月には新滑走路が供用開始される成田空港



# 新年おめでとうの言葉

## 一歩二歩 今年こそ新滑走路



成田市長  
**小川国彦**

新年おめでとうございます。

市民の皆様には、良き新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

お蔭様で成田市も、市議会をはじめ市民の皆様のご協力により、空港問題の解決をはじめ、街づくりや観光の振興、そして、福祉や環境などの施策が着実に進んでまいりました。

輝かしい二〇〇二年の新春を迎え、私は二つの夢の実現を目指します。一つは暫定平行滑走路のオープンによって「第二の開港」を迎える成田市で、今年を「今世紀の成田維新の年」と位置づけ、一新した国際空港都市を目指すことです。

新滑走路も4月には供用開始され、外国からの旅客数も700万人増の3,400万人を見込み、国内線も1日55便を予定されています。さらに成田新高速鉄道は、二〇一〇年には都心から成田までを30分台でつなぐ目標が進められます。

また、二〇〇二年FIFAワールドカップのキャンプ地の整備を契機に、青少年のスポーツに夢と希望を与えるチャンスとして、世界の国々

との交流も深め、国際都市成田を世界に向けて発信できる、その元年としたい夢です。

二つめは、日本一住み良いふるさと成田を創る市政の夢です。福祉センターが、日本建築のあたかみを生かし、木造、平屋建て、瓦葺きで、外国人も訪れる成田にふさわしい福祉施設として本年初夏には完成します。小さなお子さんからお年寄りまで、そして障害をもった方々も自由に使えるふれあいの場としてご利用いただくことができます。門前町の整備もすすめ、祇園祭や善民祭りなどをさまざまなイベントによって、国内外の観光客に楽しんでいただくワンタフル成田に仕上げたいものです。

教育や産業、特に農業の施策も、空港の共生策と共に成田市百年先の将来を見据えて、その基盤をつくりあげます。

二〇〇二年が市民の皆様にとって明るい豊かな年となりますように心がらお祈りし、新年のあいさついたします。